

■ 「司書・司書補講習60周年記念企画展示」への道 ②

～講習修了生を訪ねて：谷合佳代子館長インタビュー編

2020.10.21

桃山学院大学開学の翌年 1960 年にスタートした司書・司書補講習は、今年で60周年を迎えます。12月から始まる講習期間には60周年記念の企画展示も予定しております。

司書講習の歩みを振り返るなかで、講習の歴史が刻まれているのは資料だけではなく、講習を修了された一人ひとりの記憶にも刻まれていることに気づき、講習修了後、館長をされ、「図書館サービス特論ⅠA」の講師でもある谷合佳代子館長にインタビューを行いました。

エル・ライブラリーを訪ねたのは、コロナウィルス感染症が拡大する直前の今年2月。北浜の大阪府立労働センター(エル・おおさか)の4階に大阪産業労働資料館(エル・ライブラリー)があります。労働問題や社会運動に関する資料を中心とした専門図書館とあって、敷居が高いのかと思いきや館内には古本などの商品も並び、混んとしたエネルギーを放っています(右写真)。



▲古本などの商品が並び

授乳しながら司書講習を受講された体験、館長になるまでの経緯、図書館の未来まで、“波乱に満ちた”という形容が陳腐に聞こえるほどの壮絶な体験ですが、軽妙な関西弁で笑いを交えつつ語っていただきました(➡[インタビュー](#))。

「日本一貧乏な図書館」を自称し、ボランティアスタッフや寄付金によって支えられている図書館ですが、図書館員のスキルアップのための講座(右写真)を開かれたりと、支え合いの精神を大事にされていることが伝わりました(スタッフの中に講習修了者の方が居ました！)。



▲図書館員のためのデータベース入門講座

* * * * *

一度、社会に出てから様々な思いを抱いて講習を受け、司書になる資格を取得した方が、図書館界をはじめとして広く活躍されています。今年「図書館情報資源特論」を担当される嶋田学先生(奈良大学)も、谷合先生と同じく、司書講習修了者であり、図書館長を経験(瀬戸内市民図書館長)されています。今年度講義を担当される講師プロフィールが出来ましたので、こちらも是非ご覧ください！(➡[講師プロフィール](#))



▲カンパしてきました！